

指定管理施設モニタリング結果報告書

1 公の施設の概要について

施設の概要	名称	平戸市総合運動公園ライフカントリー
	所在地	平戸市鏡川町944
	所管課	生涯学習課
指定管理者	名称	一般財団法人 平戸市振興公社
	所在地	平戸市田平町里免27番地1
	業務内容	平戸市が所有する公の施設の管理運営等
ホームページURL		https://www.hira-shin.jp/
指定期間		令和2年4月1日から令和6年3月31日まで

2 施設の利用状況等について

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	年度
開館等日数(日)	312	318	314	316	
利用者数(人)	34,827	38,873	42,211	39,812	
前年度比(人)	△ 10,734	4,046	3,338	△ 2,399	
前年度比(%)	76.4	111.6	108.6	94.3	
利用料金(千円)	1,048	1,376	1,783	1,469	
前年度比(千円)	△ 193	328	407	△ 314	
前年度比(%)	84.4	131.3	129.6	82.4	

※その他、必要に応じて、施設の性格ごとに項目を追加する。

3 施設の収支状況について

単位:千円

項目		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	年度
収入	指定管理料	40,178	40,178	40,178	43,478	
	料金収入	959	1,376	1,783	1,470	
	自主事業収入	89	84	104	144	
	その他の収入	3,124	2,708	2,746	3,352	
	計	44,350	44,346	45,195	48,444	
支出	人件費	24,860	26,466	26,511	28,736	
	維持管理経費	7,895	8,265	9,181	12,227	
	自主事業経費	122	135	176	270	
	その他の経費	9,270	9,274	8,674	7,029	
	計	42,147	44,140	44,542	48,262	
収支(収入-支出)		2,203	206	653	182	

4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート(実施時期や具体的な方法など)
ご意見箱(アンケートボックス)の設置(通年)
利用者会議の開催で年会日程の調整と要望や意見交換。(年一回)
利用団体へのアンケート調査(利用時)
利用者なら寄せられた意見・苦情及び対応状況
アンケートではグラウンド・野球場のコンディションに感謝の言葉をいただいた。利用者からの意見としては、赤坂野球場の下側駐車場の拡張要望や、上の駐車場から荷物を運搬する際の、坂やスロープについての整備の要望などがあった。また、利用者会議では、市外の合宿予約の受付期間についての意見が出た。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など(取組の内容、効果など)
県内外のクラブチームを対象とした宿泊を伴う大会を「ライフカントリーU-14サッカー大会」としてコンベンション補助金も活用して開催した。昨年より2チーム増の6チーム参加の大会となった。

5 経費削減のための取組

具体的な取り組み内容
他施設からの応援体制強化により次の業務を公社職員で実施した。 ①公園内剪定除草(外部委託費の削減)。②公園内の草刈り作業や冬芝播種作業。 芝生の有機管理を行うことでの土壌処理剤(雑草の抑制剤)の使用減。

6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
ナイター利用の減少や芝生養生期間の発生などで利用料や利用者が減少した一方で、物価の高騰や最低賃金の上昇など軒並み支出増となる事象が増えてきた中、芝生の研修や類似施設への視察で得た芝の管理ノウハウを有効に活用したり、施設間応援体制の強化による外注の縮小など出来る限りの経費削減に努め、市からの支援もあり黒字化が図れた。今後は、経費削減には限界があることから、合宿をはじめとする利用者増のための営業力の強化やコンベンション補助金を活用した自主事業の検討などに取り組み収入増に繋げて行きたい。また、利用者が増える中においても現在のグラウンドコンディションが維持できるよう外部研修などには積極的に参加し職員のスキルアップも図っていく。

7 所管課による総合評価(太枠にS~Bの3段階で評価を記入)

市民サービスの向上	
アンケートの結果から、施設管理・運営状況について質の高い利用環境が提供できている。	
経費削減の取組	
施設全体的に老朽化が進むなか、自前での施工による取り組みや他施設との連携による業務効率化による自主的な経費削減の取り組みが見られた。	
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価	
市からの依頼に対して協力的に対応するほか、適正な施設管理により利用者から高い満足度が得られており、管理体制・運営体制において成果が認められる。 施設の利用者拡大については、プロスポーツ誘致なども含め積極的な誘致活動に取り組んでもらいたい。	
総合評価	S

※評価基準

- S: モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等より優れた指定管理業務を行っている。
- A: モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B: モニタリングチェックシートにおいて、「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。